

授業科目 感染症防御と管理

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	看護
佐藤 清美、葛城 啓彰		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：GI0】					
1. 科学的根拠に基づく感染防止対策を理解する。 2. 具体的な感染防止技術を習得する。 3. 感染管理概論を理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 感染対策の重要性を理解できる。 2. 標準予防策と感染経路別予防策の考え方を理解できる。 3. 適切な手指衛生の方法とタイミングを理解し、実践できる。 4. 防護用具の正しい選択と着脱方法を理解し、実践できる。 5. 標準予防策に基づく、器材の処理方法、環境整備、廃棄物の処理方法が理解できる。 6. 職業感染対策を理解できる。 7. 部門別感染防止対策を理解できる。 8. 看護における感染管理の目的と、感染管理者の役割を理解できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	微生物，細菌学				
2	微生物学，細菌学				
3	感染対策の重要性，標準予防策の考え方，適切な手指衛生の方法とタイミング			1, 2, 3	講義，演習
4	適切な防護用具の着用方法と選択，洗浄・消毒・滅菌の考え方，適切な環境整備と廃棄物処理方法			1, 4, 5	講義，グループ討議
5	感染経路別予防策，職業感染対策（針刺し，ウイルス性疾患，結核）			1, 2, 6	講義，演習
6	部門別感染防止対策（ICU，小児科，NICU，手術室，高齢者施設，在宅）			1, 2, 7	講義，グループワーク
7	まとめ（「こんなときどうする？」を考える）			1～5	グループ討議，発表
8	感染に関する法律，感染に関連する世界情勢，感染管理とは，感染管理者の役割			1, 8	講義，レポート
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		資料を配布します			
参考書		ベストプラクティスNEW感染管理ナーシング	洪愛子編集	株式会社学習研究社	2006・2,800円・初版
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
授業出席状況 10点 レポートによる評価 10点 試験等による評価 80点					